



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

“Reach Within to Embrace Humanity”

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

RI会長
カルヤン・パネルジー
2570地区ガバナー
立原 雅夫

Smart Rotaryを探して ~継続できるロータリークラブとは~ + ガンバレ! 日本のロータリークラブ

第 2494 例会 2012.6.6

—— ロータリー親睦活動月間 ——

天 候 雨 (NO.48-49)

会 長 吉 島 一 良 幹 事 間 邊 元 幸

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 矢 島(高)君、吉田(行)君

例会場: マロウドイン 飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
<http://www.hanno-rc.org/> E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点 鐘 吉島会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 小谷野職業奉仕委員長
- ・卓 話 市川洋太郎会員 矢島 巖会員

【会長報告】

先週土曜、地区も次年度が始まり、公共イメージ委員として私も参加。紫雲閣に移った事務局が未だ十分でなく、鈴木年度は遅れ気味です。細井職業奉仕委員長、大澤米山記念奨学委員長がRLIでバズセッションされていましたが、3、4、5月と3日間、9~17時で勉強して来られた木川一男会員にRC日本代表(チェア・オブ・ジャパン・ディビジョン黒田正宏氏)からRLI研修の修了証が届いております(会長より木川会員へお渡し)。

木川一男会員挨拶

地区からの要望で、安藤年度のロータリー情報委員長として出席。当地区からはパストガバナー7名、パート1・2・3修了者15名が参加しました。会員減少はロータリーの存在基盤を揺るがす大きな課題。クラブ活性化、各委員会活動の問題でもあります。RIは、DLPに続きCLPの導入を推奨し、より簡素化された委員会構成で効果的なクラブ作りを提唱しています。2日目には、小規模で出来る、質と量に優れて効果的な奉仕活動を可能にする委員会構成とその活動に関するセッション。

3日間の研修をどう活用するかは次年度会長と勉強して参りたい。いずれにせよRLIは米国から出た思想。自主的な発言で答えを引き出すものであって「ディスカッション・リーダー」はあくまでも「コンダクター」でなければいけないと厳しく言われました。

【幹事報告】

- ・第13回役員会開催。前回議事録確認。7月プログラム。年度報告書は7/18まで。委員会活動費の清算は事務局へ。その他、6/20・27クラブ協議会の日程配付。都合の悪い委員長は幹事まで。本年度役員の実省会兼懇親会7/11清河園18時~
- ・ガバナー月信・ロータリー川柳欄に前島会員の句が掲載「ネクタイを固く結んでメイキャップ」)



例会変更のお知らせ

狭山中央RC

- ・ 6/16(火) 例会臨時変更 今年度最後の
家族同伴夜間例会 18:00 喜代川

【委員会報告】

親睦活動委員会 中里(忠)君
親睦旅行は飯能駅南口 5:50 集合厳守です。
次年度幹事 島田君
6/13 第1回役員会開催通知を配付しました。

【出席報告】無断欠席なし・MUなし 増島出席委員長

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
54名	6名	49名	90.74%	90.74%

【SAA報告】

ニコニコBOX

- ・ 市川さん、矢島(巖)さん、本日のバズセッション、よろしくお願ひします。良い話期待しています。 新井君
本日計 1,000 円、累計額 1,102,125 円。
13日例会当番は吉澤会員、森会員です。

【バズセッション】

飯能を考える

飯能RC プログラム委員会
市川洋太郎会員 矢島 巖 会員

司会進行 市川(洋)プログラム委員長
市の予算と支出を参考にして下さい。90億円の「民生費」とは？「飯能のロータリアンは何を考えているのか」という事を一番知りたい。地元のために奉仕と言っても難しいと思いますが、自分のまちですから真剣に討議頂きたい。参考までに、1日の乗降客は飯能駅で1000人減、東飯能駅は500人増えたそうです。大宮からハイキングの人が多く来るらしいです。

バズセッション(15分間)～各卓毎に発表

A卓/杉田会員：人口減少について

子どもをつくらなければどうしようもない。若い人を育てるリーダーが居ない。精明地区を工業団地化して人を動かして欲しい。とにかく人を増やす。今は車の乗り入れがダメだが、「飯能河原」は「観光飯能」の目玉。多少の犠牲は仕方がないのではないかと。

B卓/細田(吉)会員：現実的な再生について

全然まとまらないので、よっちゃんに全部任せるとの事。「このままでは飯能はダメになっちゃう」と思い、5/7に市長、副市長と話し

ました。会議所、JC等、取り組みはそれぞれ続ければ良いと思う。しかし、中心市街地の活性化は(私が生きている間には)絶対出来ないと私は思っているのです。「こうやれば良い」は言われるが「こうやるんだ」という結論が出ない。飯能は今や「日高と秩父の案内所」。東京から飯能に人が降りなければ何にもならない。具体案としては、飯能駅南口から大橋を渡り、遊歩道を本郷まで造る。そして、堰を渡り、逆側にも遊歩道を造る。頑丈さえあれば良い。それに沿ってお店を出すのです。今、一番金を持っているのは年寄り。どこかに行きたくて仕方ないのに行く所の無い年寄りには飯能がちょうど良い。散歩しながら買い物して帰る...。私は私なりに一生懸命考えております。教育長とも会い、考えを通して行くつもりです。C卓/新井会員：商店街の活性化について

行政は「まるひろ」の面倒を見過ぎ。お金の使い方、運営がなっていない。市の実績にはなっても現実の実績に全くなっていない。市長、議員は給料を半分にして(逆に増やしても)もっと真剣に現実の問題を捉えるべき。ただ、市長が、中心市街地の活性化問題に初めて取り組んで来ているので、今までよりは個人的には期待しています。

D卓/矢島(高)会員：近隣地区への企業誘致

自分の家の近くが良くなればいい。無駄な所より金の掛からない近場・精明地区に工業団地を造り、コストを下げて企業を誘致し、どんどん税金を落としてもらおう、人も増やそう、という意見です。

E卓/前島会員：人口を増やす・企業誘致

市民団体が各種イベントをやっているが、イベントの団体に関連性がない。ひなまつりをやったらひなまつりで終わり。他の行事に繋がらない単発のイベントで、魅力がない。結論として、やはり税収が無ければ予算が無いので、人口を増やす事、企業誘致を徹底的にやる事。最後に(川柳風に)「無理言うな何も出来ない飯能市」。

F卓/吉澤会員：企業誘致・住宅を増やす・税収の増加

飯能は東京から見るとどん詰まりの所。西には行けず東へ東へと行く。東の方にもっと早くに企業誘致が出来れば良かった。税収を上げられるような企業を沢山呼んで、長く住み着いてもらえる住宅を沢山造る。若いリーダーが居れば、もう少し引っ張って行く事が出来るのではないかと。飯能を良くする思いは皆一緒だったと思います。

市川(洋)委員長

本日のバズセッションについては、矢島(巖)委員に大変ご協力頂きました。是非、飯能が良くなるように皆で協力して行きましょう。有難うございました。